

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	香粧品化学
履修学年	1年	コース	理容科 美容科
担当教員	小山民恵	経歴	香粧品化学教員資格 同時授業教員資格
担当教員	小山浩	経歴	香粧品化学教員資格
授業時間数	36	授業方法及び場所	講義 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・必修科目である香粧品化学を学ぶことで、美容業の現場で顧客の要望に応じるための多くの技術の基礎となっていることを十分に理解させる。
- ・国家試験合格という志望達成を果たせるようにすることを目標とする。

2. 学習内容

- ・〈授業の概要・授業方針〉
- ・学生は、高等教育で化学を学んできている学そうでない学生もあり、理解度にはばらつきがあるため、基礎的事項をどれだけ理解しているかの習熟度を見極めるために、ある程度遡って、復習の時間を設け、重要事項にポイントを絞って、單元ごとに小テストなど適宜行うことで理解の定着を図る。

3. 学習方法

- ・授業では、PPによる視覚教材や簡単な実験を取り入れ理解を深める。
- ・実際に香粧品を使用し、使用感やテクスチャー、匂い等実体験に基づいた学習を学ばせる。
- ・座学が一方的にならないように、適宜、質問や発言を促すようにする。
- ・机間巡回をし、理系の学習が苦手な学生をサポートする。

4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況进行评估する。
- ・学期末テスト
- ・提出物、小テストにより評価する。

教科書	香粧品化学(日本理容美容教育センター発行)	参考文献 副教材等	オリジナルプリント
-----	-----------------------	--------------	-----------

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学	<ul style="list-style-type: none"> ・高校化学の振り返りとして、教科書付録で基礎化学を学ぶ。 ・単元テスト
5月	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学	<ul style="list-style-type: none"> ・高校化学の振り返りとして、教科書付録で基礎化学を学ぶ。 ・単元テスト
6月	第1章 化粧品概論	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品と理美容の役割について学ぶ。 ・化粧品の規制について学ぶ。 ・化粧品の取り扱い上の注意について学ぶ。 ・化粧品の安全性について学ぶ。 ・単元テスト
7月	第2章 化粧品用原料	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の対象となる人体各部の性状 ・水性原料について ・油性原料について ・学期末テスト
9月	第2章 化粧品用原料	<ul style="list-style-type: none"> ・両性界面活性剤について ・高分子化合物について ・単元テスト
10月	第2章 化粧品用原料	<ul style="list-style-type: none"> ・色材 ・香料 ・その他の配合成分 ・まつ毛エクステンション用材料 ・単元テスト
11月	第3章 基礎化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚清浄用化粧品 ・化粧水、クリーム、乳液その他の基礎化粧品 ・単元テスト
12月	第4章 メイクアップ用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・メイクアップ用化粧品の種類と剤形 ・ベースメイクアップ用化粧品 ・学期末テスト
1月	第4章 メイクアップ用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントメイクアップ化粧品 ・単元テスト
2月	第4章 メイクアップ用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントメイクアップ化粧品 ・単元テスト
3月	第5章 頭皮・毛髪用化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー剤 ・スタイリング剤 ・学期末テスト